

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1 災害時の避難所・情報 体制の見直しについて	7月30日、海外で規模の大きな地震があり、日本
	の沿岸に津波注意報・警報が発令されました。東日
	本大震災から14年、町民の命と暮らしを守る避難体
	制の在り方が、今、改めて問われます。
	避難所では、「正確な情報が届かない」、「避難
	所で必要な物資が足りない」、「誰が何をするか不
	明確」といった不安の声が聞かれました。
	そこで、防災における情報発信、備蓄用品、避難
	所運営体制について伺います。
	(1) 津波警報が発令されたのが午前9時41分、そ
	の22分後に自治体LINEやXを用いた津波警
	報が発信、55分後には避難所の開設情報が発信
	されました。
	津波到達予想時刻を過ぎてから、避難所開設
	情報が配信されている現状、情報の即時配信が
	行われていない現状を町としてどう認識してい
	るか、伺います。
	(2) 災害時でも、生理は止められない「日常」で
	あり当然に配慮されるべきですが、避難所での
	備蓄や配布方法が不十分だと感じます。避難所
	備蓄において、生理用品の数量や配布方法はど

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2 道の駅周辺店舗への 誘導・情報提供の在り 方について	のように整備されているか、伺います。
	(3) 本町では避難所開設時に、行政区長等への即時連絡体制はどのように構築されているか、通信手段の活用状況を含め、伺います。
	(質問の相手：町長、担当課長)
	道の駅おながわは、観光客や来訪者が立ち寄る拠点施設となっており、地域経済や観光振興において大きな役割を果たしています。しかしながら、道の駅エリアに入っていない周辺店舗から「観光客が道の駅だけを見て帰ってしまう」、「自分たちの店の存在を知られていない」といった切実な声が寄せられています。実際に店舗を訪れた来訪者からは「こんなところにお店があるなんて知らなかった」と驚かれることも少なくないようです。
	地域全体のにぎわいを生むためには、道の駅内外の連携や全体の魅力の見える化が必要です。そこで以下の点について伺います。
	(1) 現在、道の駅エリアに入っていない周辺店舗や施設の情報を来訪者に提供する仕組みはあるのか、内容をお示してください。

質 問 者 宮 坂 千 尋

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
	(2) 周辺店舗や施設を紹介する看板や案内マップ、また食品サンプルを使った案内は、視覚的にも分かりやすく魅力を伝えることができます。
	来訪者に魅力を一目で伝える仕組み、入店率の向上を図るための取り組みを実施することについて、町の見解を伺います。
	(質問の相手：町長、担当課長)